

南海グループは持続可能な開発目標 (SDGs) を支援しています

2023年10月11日 南海電気鉄道株式会社

"ちょけ"から始まる次世代のエンタメ クリエイターインレジデンスプログラム「Chokett」始動 なんばのエンタメを共に創るクリエイターを募集します!



南海電気鉄道株式会社(社長:岡嶋 信行、以下「南海電鉄」)は、「グレーターなんばビジョン"ENTAME-DIVER-CITY ~Meet! Eat! Beat! On NAMBA~」に基づく、リーディングプロジェクトとして、クリエイターインレジデンスプログラム「"Chokett(チョケット)"」を始動します。

本年策定しましたグレーターなんばビジョン(以下、ビジョン)において、ハード・ソフト両面によるまちづくりを 進め、特にソフト基盤の形成に取り組むことを公表しましたが、詳細が固まりましたのでお知らせします。

※「グレーターなんばビジョン」の詳細は2023年3月24日付報道発表をご参照ください:

https://www.nankai.co.jp/news/230324.html

ビジョンに掲げる「人を惹きつけ続ける次代のなんば」の創造に向けて、当社グループでは喫緊の課題である国内の人口減少や VUCA(ブーカ)といわれる時代において、変化していく街のニーズに機敏に応えていく必要があります。

次代のなんばを創造するアプローチとして、今回のプログラムでは、ユニークな街並みに多様なエンタメと人々が集うエリアである"なんば"の強みを生かし、「なんばエリアに訪れたくなる、過ごしたくなる動機づくり」の実現を図るための"まち活"を、クリエイターとの共創によって取り組むこととしました。

概要は次ページのとおりです。



クリエイターインレジデンスプログラム「Chokett」 概要

※クリエイターインレジデンス

クリエイターが一定期間特定の場所に滞在し、クリエイティブな活動やリサーチを行うこと、また、その支援 を行うことであり、その活動機会をグレーターなんばエリアで展開します。

1. プログラム名「Chokett」について

関西の人々の気質を描写する方言の一つである、"ちょける"。(「ふざける、 おどける」の意)

"ちょけ"は、なんばにおける最小単位のエンターテインメントの形になれると考えました。

街のあらゆる場所を舞台として"誰もが演者となれる"というなんばの新たな街の姿を目指し、その思想を託すモチーフとして、かつてシンボリックに難波駅にそびえていたロケットに着目し、"ちょけ"とかけ合わせた造語をプログラム名としました。なんばの街を使って遊ぶ来街者一人ひとりのエンタメが、ロケットのようになんばの空を飛び交うシーンをイメージしました。

当社として、街のあらゆる場所で、ちょける楽しみを通じて誰もがハッピーとなれるシーンを創造することにより、"ENTAME-DIVER-CITY"の実現に近づけます。



Chokett のアイコンとなる木製ロケットモニュメント

2. コンセプト「ちゃんとふざけるなんかいでも」について

"ちょける"を"大人が童心に還る瞬間"であると捉え、なんばに訪れたり、時間を過ごしたりする人々がまるで子どものようにはしゃぎ、ちょけられるように遊び心を引き出し、いつでもどこでも大真面目にふざけていこうとする意志を込めています。

ちょけを発端に、新しい形のエンターテインメントを街の至るところに実装し、街全体をステージに変えていくことを目指します。正々堂々と一緒に"ちょける"仲間やなんばに訪れる・なんばで時間を過ごす皆さんと共に街を楽しんでいきます。

Chokett

ちゃんと ふざける なんかいでも

観る、買う、遊ぶ、働くだけでは物足りない。街は使いこなしてなんぼ。

そんな文化と態度を育むためのクリエイターインレジデンスのプログラム「Chokett」が、なんばから始動します。 ストリートの隙間や余白からモクモクと出現するのは、露店? 大道芸? 展示会?

そのどれにもすんなりおさまらないクリエイター達による新種のエンターテインメント。

街を使った私たちの本気の遊びはやがて大きな輪になって、

「あっ、そんなところでこんなことやっていいんだ!」と、日常の見方を変えるはず。

なんばで正々堂々とちょける!

そんなChokettshipな精神を一緒に羽ばたかせましょう。

プログラム名、コンセプトテキスト

3. メインビジュアルについて

- ■背景ビジュアル・・・まちなかにある大小様々な物体がロケットのよう に飛び交っている様子を描写。
- ■ロゴデザイン・・・「C」や「e」にロケットから出る炎や煙の形状を取り入れるとともに、「o」の文字はこれから生まれる新種の何かを表す "爆発"や"伏せ字"をイメージ。
- ■コンセプト文は、部分的に文字を反転させることで文字通りふざけた 印象を持たせた。



今回のプログラムデザインは、以下のクリエイターの皆さまと共に創り上げました。

クリエイター(敬称略)	役割
アサダワタル	プログラム名、コンセプトテキストの制作
森倉 ヒロキ	ロゴデザイン、ビジュアルデザイン
若木 くるみ	背景ビジュアルデザイン

4. クリエイター募集について

2023年10月17日(火)より、当社と共になんばで活動していただけるクリエイターの皆さまを募集します。 審査により選ばれたクリエイターの皆さまは、なんばパークス1Fに設けている「Base(108)」をクリエイターイン レジデンスの活動拠点としていただけるほか、当社所有施設内のオープンスペースを活動場所として活用でき るようになります。南海電鉄とともに"Chokettship(チョケットの思想を取り入れた活動姿勢の意を込めた造 語)"な活動をしていきましょう。

募集の概要は以下のとおりです。

■募 集 期 間:2023年10月17日(火)正午~10月31日(火)

※募集サイト https://awrd.com/series/chokett

■審査結果発表:2023年11月10日(金)

■活動期間:2023年11月20日(月)~2024年2月25日(日)

■費 用:無料

■参 加 特 典:Base(108)などの活動場所のご提供、活動期間中の当社線乗車券、なんばパークス・なんば CITY 等の施設優待特典など

■そ の 他:活動期間終了後に、活動発表を兼ねたイベントの開催を予定しています。なお、イベントの 詳細は、内容が決まり次第、お知らせいたします。

5. Base(108)について

アジャイル的思考でモノ・コトを創り上げ、体験することのできる活動と発信の拠点として、Chokett の様々なベース(基地)として活用します。様々な人々の価値観を受け入れながら、Chokettive(ちょけ感のある、という意を込めた造語)なモノ・コトを創り出し、Base(108)からなんばを楽しくしていく部室のような場所です。プログラムに参加するクリエイターは創作活動に使用できるほか、展示や販売などに活用することも可能です。



■場所:なんばパークス1階(カーニバルモール沿道:葵稲荷大神前)

■面積:42.86 m(12.96 坪)

■利用シーン:創作活動、ミーティング、イベント出展、ポップアップストアなど

■営業時間:不定期

6. 事業パートナーについて

株式会社 ロフトワーク https://loftwork.com/jp/about

すべての人のうちにある創造性を信じ、オープンコラボレーションを 通じて Web、コンテンツ、コミュニケーション、空間などをデザインする



クリエイティブ・カンパニー。様々な才能と共創することで、幅広いクリエイティブサービスを提供します。

7. (ご参考)これまでの取り組み

実施内容	時期	概要	
DIT (Do It Together) ワークショップ	2023年 8月	Chokett の活動拠点である「Base(108)」の整備を目的としたワークショップとして、当社メンバー・㈱ロフトワークメンバーを中心に、Chokett のアイコンとなる木製ロケットモニュメントやツール棚を DIT(Do It Together: DIY を一緒に取り組む)によって制作しました。	





クリエイター: TEAM クラプトン

実施内容	時期	概要
Chokett プレイベント 2days	2023年 9月22日 ·23日	「Chokett」プログラム始動に先立ちプレイベントを開催。企てたメンバーによるトークセッション、クリエイター達による古着リメイク、屋台づくりなどプロトタイプの出展、そしてDJプレイと共にプログラムの幕開けを祝いました。







クリエイター:青山メリヤス、カモメ・ラボ

南海電鉄は、SDGsへの取組みを強化しており、関連するニュースリリースに「SDGsの目標アイコン」を明示しています。

今回ご案内の取り組みは、8番、9番、11番、17番に繋がるものです。







